



2021年7月5日

日本鉄道労働組合連合会

安全を最優先に取り組みを進め、相互交流を今後も継続

# 台湾鐵路工会との テレビ会議を実施

JR連合は結成以降、世界の労働者との連帯行動を重視し、様々な国際連帯活動に積極的に取り組んでいる。

台湾鉄道の労働組合である台湾鐵路工会とは、1993年に協定を締結して以降28年間、相互交流を重ねながら信頼関係を築いてきた。今回新体制が発足したのを機に、オンラインにて改めて相互の連帯を確認した。



台湾鐵路工会を巡っては、本年の4月2日にタロコ号の列車脱線事故が発生しており、JR連合荻山会長は犠牲者に改めて弔意を示した。引き続き、安全を最優先に取り組みを進めていくことを相互に確認した。



また、陳理事長より、日本から新型コロナウイルスワクチンの提供を受けたことについて、厚い謝辞が述べられた。

来年は、相互交流協定の更新時期を迎える。国境をまたいでの交流が制限される中、協定の更新に向け、引き続きオンラインの活用を含めた連帯を深めていくことを確認した。